

# 和合

No.112  
2016.8.20

題字：三浦修次



## 2020に向かってガンバシ!!

(8月4日余四小プール開放「自主練習」)

### 主な掲載記事

おらほの民俗行事 .....	2
むかしあそび .....	2
おっきぐなれの～ .....	3
こんにちは！保健師です .....	4
畑からこんにちは .....	4

亀治からのメッセージ .....	5
よつばっこ通信 .....	6
こうなってほしちゃ .....	6
健康レシピ .....	7
わごう交番 .....	7
地域インフォメーション .....	8

## おらほの民俗行事 [No.9]

# 古関獅子舞

古関獅子踊り若連中代表 奥山 豊氏

古関獅子踊りは、部落史によれば約220年前の宝暦年間に隣村の四ヶ村より習得し、神前・戸毎（門掛け）に踊ったのが始まりと伝えられ、悪魔払いや豊作を願い上演されていました。

獅子踊りは、明治時代から消防団や管理運営してきましたが、昭和32年より全戸加入による獅子踊り保存会が発足しました。予算は、昭和32年当時門掛けの投げ草金（全戸の庭先で踊った時の寸志）で、現在は獅子舞保存会会費並びに祭当日、新築・お祝い・厄払い等での門掛け依頼による投げ草で運営しております。

7月中頃から練習を始め、8月からは小中学生の役者練習も参加となります。8月13日は、朝から獅子頭のたぐり・幕付けや唄い手や棒使い・太刀使い・笹羅摺の衣装確認や飾り付けを行い、獅子の魂入れ祈祷拝礼があります。8月15日には例大祭渡御行列先陣を練り歩き、後に神社境内で奉納の舞があります。

8月16日早朝に魂抜き祈祷拝礼をして、祭典獅子舞行事の終了となります。  
※昭和58年余目町教育委員会により境内で奉納獅子踊（大踊り）をVTRに収録、現在はDVDに収録されています。

また、獅子踊保存会存続としても危ぶまれる中、課題として踊り手の中高年化や小中学生の減少による役者のなり手不足があります。そして、唄い手・踊り手・役者などの民俗芸能自体の伝承困難です。そんな中ではありますが、部落会・保存会ともに打開策を検討しながら、より良い案を思案中であります。



▲ 四百年祭 白山神社にて

## むかしあそび

### カブとしめ(捕り)

朝早くおきて、カブトを捕まえて角の大きいのを自慢し合った。

オス同士で喧嘩させて背中が下になったカブトが負け。

強いカブトを持つことは誇りでもあった。



### گانからけり

※ かんからを足で蹴って、飛ばした距離で勝負を決めた。

かんからを蹴って、明日の天気占いをした。  
上が出れば晴れ。底が出れば雨だった。

※かんから…缶詰の空き缶

## 水鉄砲

から竹を片方に節をつけて30センチに切り、節の真ん中をキリで穴をあけて、差し棒の先に布を巻いて糸でしめる。

穴のあけた竹の中に水を入れて、差し棒を入れて水平に持ち、勢いよく押して水をはじいた。水が飛ぶ距離を競った。



昭和20年代～、当時の子ども達はどんな遊びをしていたのか…遊び道具の少ない時代、創意工夫された懐かしい遊びを紹介

長南一美氏[ダシ風物語記念館 館長]

# はやい、あっきぐなれの～

- ① 誇らしげに咲く蘭の花のように堂々と自信をもって歩いてほしいという想いを込めて。
- ② 飼い猫チャーちゃんの追っかけ。超熱狂的！
- ③ 1人ですべり台すべられました。でも実は、逆から上りバランスを崩して落ちてきただけ…。
- ④ ピーマンやセロリを食べさせたら苦かったらしく、何でも警戒するようになってしまった。
- ⑤ 自分の思った通りにやってみなさい。  
パパとママはいつでも味方。精一杯応援するから。



れいら  
**小泉 澗蘭** ちゃん (廻館)  
平成27年8月24日生まれ  
パパ：宏 / ママ：奈津子

## パパ・ママにインタビュー

- ① 名前の由来は？
- ② 今一番の興味やハマっている遊びは？
- ③ 最近のエピソードは？
- ④ パパママの失敗談（子育てあるある）
- ⑤ パパママからのメッセージ



- ① 男の子なので、父親の「通」をとり、明るく元気にのびのび育ててほしいと願って。
- ② 自力でベットの登ること。でも降りられない。
- ③ 「もしもし」は？と言うと携帯電話を持って耳にあて、電話するマネをすること。
- ④ 安い時にオムツを買い過ぎて、サイズアウトしてしまったこと。
- ⑤ ご飯をいっぱい食べて、健康に！  
元気で活発な男の子になってね！ 椰通、大好き♡

なつ  
**大滝 椰通** くん (西袋)  
平成27年9月4日生まれ  
パパ：通隆 / ママ：千寿

こんにちは！  
保健師です。

## お酒を飲まれる方 必見！



第四学区担当  
石川 <sup>あっこ</sup> 丁子

夏は何かとお酒を飲む機会が多い季節です。お盆休みについつい飲み過ぎてしまった方はいらっしゃいませんか？

お酒は適量を守って飲めば、食欲増進、ストレス解消などの効果をもたらしますが、飲みすぎは胃にも肝臓にも負担をかけます。また、アルコールはけっこう高カロリーのため、飲みすぎは内臓脂肪を増やし、生活習慣病の原因になるので注意が必要です。

さらに、長年の大量飲酒は脳を委縮させることもわかっています。

◎節度ある適度な飲酒を心がけ、週に1～2回は休肝日を設けましょう。

※適度な飲酒の目安は、1日平均純アルコールで約20g程度の飲酒とされています。

純アルコールで約20g程度のお酒の目安（下記のうちのどれか1つです。）

ビール (5度)	清酒 (15度)	焼酎 (25度)	チューハイ (7度)	ウィスキー (40度)	ワイン (12度)
ロング缶1本 500ml	1合 180ml	0.5合 90ml	1缶 350ml	ダブル1杯 60ml	2杯弱 200ml

厚生労働省HP 健康日本21(アルコール)より

◎妊娠中・授乳期は禁酒しましょう。

妊娠中の女性が飲酒すると、生まれてくる赤ちゃんに低体重・顔面を中心とする奇形・脳障害などの『胎児性アルコール症候群』が出る危険があります。少量の飲酒でも、妊娠のどの時期でも、影響を及ぼす可能性があります。妊娠中と授乳期は禁酒しましょう。

## 畑からこんにちは

真っ青な空にもくもく白い雲、夏本番の7月下旬。予報では今日も30℃越え、暑い暑い夏に思いやられるなあ～。

毎年、年間計画をたてて作業日誌に丁寧に記録をつけている長堀さんの畑は今、夏野菜の全盛期。自宅前の畑で作ったナスやキュウリ、トマトを毎朝収穫し、新鮮な野菜がすぐに食卓に上がります。

季節ごと切れ間なく作付される野菜は、工夫を凝らした手作りビニールハウスで種から苗を育て、畑に移植し、完全無農薬で丹精込めて作られています。今年は天候に恵まれ、作物は順調に成長して

いますが、同時に雑草の成長もよく、すでに4回も除草作業をしたそうです。

野菜作りは、春の土作りが肝心と堆肥をたっぷり入れた畑で育てる野菜と一緒に、グラジオラスやぐんぐん伸びたひまわりが緑の中で色鮮やかに咲いていました。

学生時代から50年以上使い続けているという愛用の鍬くわを片手に畑仕事とグラウンド・ゴルフで



長堀 <sup>かずお</sup> 一雄さん(福島)

日焼けした健康的な顔から白い歯をのぞかせ、にこやかに話をしてくれました。

亀治からのメッセージ なつかしい風景 ～ちょこっとおかしの農業～

黄金一色に輝き風にそよぐ稲穂波、今昔延々と。

つなぎ結び

8月は、春の種まきから丹精込めて育ててきた稲が、米づくり農家待望の出穂となる。

台風シーズンと重なる季節柄、大きな気象災害等に遭遇しないことを祈りながら、稲刈りや稲揚げ作業の準備に取りかかる。

現在のようにビニール紐などなかったので、刈り取った稲を杭掛けするために結ぶ

「逆さつなぎ」や稲揚げに使う

「つなぎ」を前年度に

収穫した稲藁で作る。

雨降りや畑や田んぼ

等の外仕事のできに

くい日に内仕事とし

て行われた。



杭配り (くいくぼり)

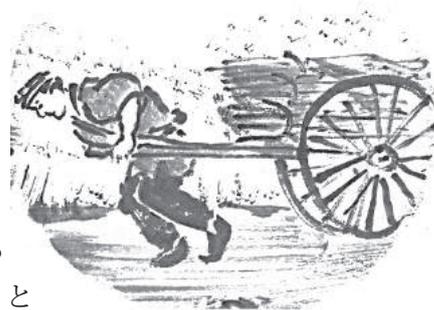
機械化が進んだ現在では想像しがたいと思うが、稲刈りも乾燥調整作業も全て手作業、自然を利用した方法で収穫作業が行われた。

稲刈りと同時に1メートル80センチ位の杭を畦畔等に「刺し立て」て、稲を掛ける「ホニオ」といった流れで稲の刈り取り杭掛け乾燥作業が行われた。

杭は、使用する時期まで雨等に当たらないように屋根のついた「杭納屋」や「杭ニオ」（杭を集め藁等で屋根をかぶせる）で大切に収納しておき、稲刈りが近づくと各

圃場に必要数だけ荷車やリヤカーを使って配ったのを「杭配り」と

いった。刈り取り作業が効率よく進められるよう過不足なく配ることも当時は大切であった。



稲刈り

9月は、稲刈りが始まり秋の農繁期に突入する。どこの家でも早朝暗いうちに朝食を食べ、朝日が昇りきらない薄暗い中、刈り取り作業が始められた。若勢(使用人)達も一人で一反歩のわっぱぐ(ノルマ)をもらって働いた。腕のいい若勢は、昼まで刈り終る仕事ぶりであった。

お昼は、嫁や姑が作ってくれた弁当を田んぼでいただき、お昼過ぎ早々にみんなが家路につき、翌日に備え早めの夕食、就寝となる。

こうして一週間から10日も刈り続けると刈り上げの日がくる。

刈り上げには、必ず餅をついて振る舞った。隣近所、親戚などにも餅を配った。



松浦一字氏[資料館運営協議会委員]

亀ノ尾の里資料館



《秋の展示》

稲刈り・ひけし作業

9月10日(土)～11月13日(日)

資料館にお雛さまを飾ってみませんか

亀ノ尾の里資料館で開催する「雛(ひな)人形展」(平成29年2月25日～4月3日)に展示するお雛さまを探しています。しばらく、お家で飾っていないという方、この機会に飾ってみませんか。

余目第四公民館までご相談ください。



## カメさん、奇跡の生還!!

と何度も大捜索しましたが、残念ながら見つかりませんでした。

それから1カ月が経ったある日……な・な・なんと!!

ズとかカエルとか食べていたのかな。」と、カメさんの1カ月に及ぶ大冒険を想像している子ども達でした。

第四幼稚園にはかわいいカメさんが4匹います。カメさんは幼稚園の人気者!年長組さんが、毎日張り切ってお世話しています。

ところがある日、事件は起こりました。なんと1匹のカメさんがいなくなってしまったのです。「朝、お世話をしたときはいたのに!」と驚きの年長組さん。田んぼの中を「かめきち〜!」「出ておいで〜!」

カメさんが帰ってきました!

幼稚園のカメがいなくなったことを知っていた地域の方が、自分の田んぼの用水路にいたカメさんを発見し園児のいるお家に届けてくれたのでした。幼稚園のみんなは大喜び!甲羅には傷跡があり、「カラスから突っつかれたのかな。」「ミミ



▲かめきちとの再会の瞬間“おかえりなさい!!”

6年生のみんなが願う『和合の里』の未来像

### 第四小学校

## こうなってほしいちゃ 和合の里



ぼくは、いつもみんなが笑顔でくらす和合の里になってほしいなと思いました。

川井 哲哉 (古関)



みんなが仲良く、笑顔になって、動物がたくさんいる、和合の森になってほしいです。

池田 那奈 (中野)



みんなずっと仲良しで、ずっと笑顔でくらすような、そんな和合の里であってほしいです。

齋藤 星夢 (吉方)



僕が思う和合の里の未来像は、みんな、笑顔がたえないことです。みんな笑顔だったら、明るくなるので、そうなってほしいです。

本間 航生 (福島)



みんな笑顔になってほしいです。理由は、一人でも笑顔じゃない人がいると、みんなの笑顔がなくなってしまふからです。

齋藤 泰希 (南野)



みんなが笑顔で、仲良く、明るいあいさつがたえない、自然を大切に、思いやりのある「和合の里」になってほしいです。

齋藤 綾菜 (沢新田)

# 健康ししぴ

安ウマ！ボリューム満点 油揚げのチリソース

## 材料(5人分)

油揚げ・・・・・・・・1枚	【調味料A】
鶏モモひき肉・・100g	おろししょうが・・・・小さじ1
玉ねぎ・・・・・・・・1ヶ	おろしニンニク・・・・小さじ1
長ねぎ・・・・・・・・1本	トマトケチャップ・・大さじ3
人参・・・・・・・・1/2本	しょうゆ・・・・・・・・小さじ2
サラダ油	みそ・・・・・・・・大さじ1
酒	砂糖・・・・・・・・大さじ1.5
豆板醤	
片栗粉・・・・・・・・適量	



## 作り方

- ① 油揚げは、ひとくち大に切って、片栗粉をつけ油で揚げる。
- ② 玉ねぎ、長ねぎを粗みじんに切る。人参をたんざくに切る。
- ③ フライパンにしょうが・ニンニクを入れ、香りが出るように炒め、ひき肉と野菜を加え炒める。
- ④ ③にAの調味料を入れ、揚げた油揚げを加え、混ぜ合わせる。

## ひとくちメモ

### 【意外と知らない】

油揚げはとっても優秀な食材だった！

- 優秀ポイントその1：料理にボリュームをプラス
- 優秀ポイントその2：調理しやすい
- 優秀ポイントその3：栄養価が高い

油揚げは、調理しやすいだけでなく美味しくヘルシーに節約もできる便利な食材。

常に冷蔵庫にストックしておきたいですね！

「味博士の研究所」より抜粋

## わごう交番

# 防ごう！山での遭難事故！！

秋山シーズンは、紅葉狩りやきのこ採りなどで多くの方が入山する季節です。

収穫に夢中になり道に迷ったり、無理に採ろうとして転落するなどの遭難事故が懸念されます。

また、立谷沢地内においては、今年に入り例年より多く熊の目撃通報があり、県内各地で熊の目撃が報告されています。入山する際は、十分に気をつけてください。

- 一人では行かず、行き先・帰宅時間を家族に告げ、早立ち早帰りをする。
- 熊鈴・熊撃退スプレー・ラジオ・食料・雨衣・携帯電話を忘れずに。  
(熊撃退スプレー等はホームセンターで購入可)
- 体調が悪いときは山に入らない。途中で体調が悪くなったら、すぐ下山する。
- 道に迷ったらむやみに動き回らず、見晴らしのよい場所で助けを待つ。
- 迷ったら携帯電話が通じるところで助けを呼び、その場を動かない
- 熊の領域に侵入するということを認識する。
- 子連れの熊には要注意。
- ゴミを山や川に残さない。

熊も秋山が  
大好き？



## 第四学区老人クラブ連絡協議会グラウンド・ゴルフ大会 喜一憂プレイを楽しむ



▲一打に集中!

7月10日、前田野目農村公園ひだまりを会場に第9回目となるグラウンド・ゴルフ大会が開催されました。各单位クラブから参加した約100人の皆さんが熱戦を繰り広げました。日ごろから体力づくりや健康維持のためにと練習を重ねている選手たちは、クラブを握る手に力を込め、ハイスコアを競い合いました。結果は、団体戦優勝がチームでお揃いの帽子を被り、気合十分の南野Aチームが連覇達成。準優勝が南野Bチーム。第3位は小出新田Aチーム。個人戦は、優勝が加藤重雄さん(南野)、準優勝が本間俊男さん(西袋)。

## 防 防犯功労者表彰おめでとう 犯活動が認められる

7月13日、響ホールにて開催された「明るいやまがた夏の安全県民運動」庄内町町民大会において、多年にわたり安全・安心な街づくりに多大な貢献をし、地域安全運動に尽力された功績により第四学区から2名が表彰されました。

- ◆山形県防犯協会連合会防犯功労者  
相馬 俊 (廻館) 庄内町防犯協会第7支部長
- ◆庄内町防犯協会防犯功労者  
加藤 薫 (主殿新田) 庄内町防犯協会第8支部長



▲鶴巻会長から表彰状を受け取る相馬俊さん



▲花のプレゼントに向かう四小の子ども達

## お 学区内の一人暮らしのみなさんへ 花のプレゼント

余目第四小学校では、子ども達の心を育てるためにソーナ訪問や南三陸町の伊里前小学校との交流など積極的に行っている中、自分たちの和合の里のためにできることはないかと考えました。そこで、日頃、地域でお世話になっている方々とふれあいを通して、人と人の結びつきがもっと強くなればと5、6年生を中心に一人暮らしの方にお花のプレゼントを行いました。

当日は、あいにくの雨降りでしたが、花鉢を手に1軒1軒訪問しました。皆さんから笑顔と感謝の言葉をいただき、子ども達はとてうれしそうでした。

**編集後記** 8月はじめ、当館の地域担い手育成事業「ジュニカレ和合塾」(小4～6年対象)で和合のお宝調べ&地図作りをした。4班にわかれ、自転車ですれぞれ調べ先を訪問。地域の方からお宝の説明を

していただき、地図にまとめた。何百年前のものを大切に守り伝え続け、今も存在している宝物を目にし、自分たちの住む地域の歴史と伝統を学んだ。次世代につなげてくれることを期待したい。

余目第四公民館  
亀ノ尾の里資料館  
**9月8日(木)**は

全館清掃日のため午後5時からの開館になります。ご協力をお願いします。